



| | | | | | | |
|-----|------------------------------|----|------|----|------|------|
| 会長 | 阿部賢悟 | 幹事 | 遠藤光則 | 会報 | 飯塚仁哉 | 渡辺光悦 |
| | 江川元徳 | | 佐藤静市 | | 布施孝尚 | |
| 例会場 | サンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327 | | | | | |
| 例会日 | 毎週木曜日 12:30~13:30 | | | | | |
| 事務所 | サンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327 | | | | | |

第2303回例会 2011. 5. 26 No.40

本日の出席率

- ・本日の出席率 90%
- ・前回確定出席率 90.30%

ニコニコボックス

- ・富士原裕子会員 会長より5月12日の誕生日に大変きれいなお花を頂きありがとうございました。本日のスピーチ楽しみにしております。
- ・江川元徳会員 5月21日、妻の誕生日にお花を頂きありがとうございます。
- ・阿部泰彦会員 小竹秀敏会員、スピーチご苦労様です。大宮シティロータリークラブの永井会長より週報が届きました。ありがとうございます。お蔭様で(株)登米市観光物産協会の社員総会、午前中に終わりました。熊谷敏明会員、議長ご苦労様でした。
- ・飯塚仁哉会員 小竹秀やんの、どうしたらメタボを落とさず健康維持が出来るか、聞きたいものです。
- ・遠藤光則幹事 小竹秀敏会員、二転三転のスピーチ大変期待しております。
- ・菅野幸一郎会員 追加で河北新報出版社が、東日本大震災の一ヶ月全記録特別報道写真集を出しました。宜しく願い致します。
- ・杉田広仁会員 本日遅刻しました。
- ・阿部賢悟会長以下、小竹秀敏会員のスピーチに期待して。
鈴木彦太会員 布施孝之会員 村上武彦会員
佐々木崇会員 佐藤敬喜会員 山田直志会員
佐竹孝行会員 菅原文之会員 佐藤静市会員
佐々木源悦会員 熊谷敏明会員 小泉洋会員
岩渕正彦会員 高橋利光会員 佐々木功一会員
小野寺伸浩会員 佐々木一寛会員 武川毅会員

太田陽平会員 高橋義文会員

以上、ありがとうございました。

会長要件 阿部賢悟会長

5月22日よりアメリカのニューオリンズでR I国際大会が開催されました。今大会には当クラブからは参加致しませんでした。2520地区でも榎山直樹ガバナーはじめ参加を見合わせたという報告をいただいております。世界大会のニュースが入っております。5月24日の第3回本会議に於いて、あのビル・ゲイツ氏の基調講演が行われました。ポリオの撲滅に向けて大きな進展に貢献してきたロータリーを称えます。そして、更に何千人もの子供たちを依然として脅かしているこの病の撲滅に更なる努力が必要と訴えました。彼の率いるビル・ゲイツ財団は、これまで3億5,500万ドルの資金を寄付してきました。ロータリーではこの資金に更に2億ドルの資金を上乗せして寄付するための募金活動を展開しております。「2万ドルのチャレンジ」として。現在1億7,320万ドルの募金が集まっているそうです。2万ドルまであと少しというキャンペーンをニューオリンズでは駅等にポスターをはって啓蒙をはかっているそうです。又、ニューオリンズはジャズのメッカと言われておりますが、それに適わしいポリオ撲滅のためのコンサートも開催されておることです。プラスバンドや大道芸人たちの芸に観客でにぎわっているということです。

2012-2013年度R I会長に、田中作次氏が正式に第4回本会議で決まり講演をされました。それによりまず「力強いクラブを作ることは、ロータリアン全員の責任である」と話しておられます。力強いクラブを作るには質の高い会員が必要、又、若い会員を育てる行動計画の必要性も訴えております。その中で論理は必要ありません。行動で示さなければだめなんです。この様に述べておられます。

幹事報告 遠藤光則幹事

- ・榎山直樹ガバナーより
R I 理事指名委員会委員選出の件
- ・佐藤尚 (築館RC) 次年度ガバナー補佐より
次年度ガバナー公式訪問日程について (8月30日(火)・A方式の予定)
- ・大江勝雄会員より
マッチンググラント (韓国への支援) 中間報告
- ・「ザ・ロータリアン」誌が届く
- ・6月のロータリーレート 1ドル=82円
- ・大宮シティRCより、週報が届く
(メールで届き、阿部泰彦会員がプリント)

各委員会報告

- ・次年度関係 (菅原文之副会長)
次年度の会長は私、菅原文之、副会長・遠藤光則現幹事、幹事・佐々木源悦会員、会計・猪股育夫会員という布陣で臨みます。会務分担については佐々木源悦次年度幹事より、話があると思いますので、よろしくご協力のほどお願いします。新委員長会議は、6月中旬頃に予定しております。

阿部泰彦会員

先程、大宮シティRCの永井会長からメールにて届きました週報をプリントして皆様に配布致しました。内容を見ますと、かなり詳しく佐沼ロータリークラブの状況も紹介していただき、感謝しております。救済活動もそうですが、佐沼ロータリークラブのメンバー、登米市長、南三陸町長等、素晴らしい人々に出会ったことが最大の喜びであったと話しておられました。6月の末に第2回目の義援金と救済物資を持って来るということでございます。ほんとうにありがたいことです。

今週のスピーチ

「鮪の話」

小竹敏秀会員

今日は、魚の中でも鮪の話をして見たいと思います。鮪の種類には、クロマグロ (本マグロ)、メバチマグロ、キハダマグロ、ピンチョウマグロがあります。カジキマグロは分類上マグロの種類には入りません。他に南マグロがあり、これは、オーストラリアの下の南氷洋で獲れる魚で昔はインドマグロと言われて、クロマグロに近い脂のりの良いマグロです。

漁場は、北緯30度から50度まで、南緯30度から50度までと決まっており、日本は丁度その中に入っております。台湾沖からカラフト沖まで帯状に、ニューヨーク沖から地中海沖まで全部、これが北緯のマグロの分布です。南緯は、オーストラリア、ニュージーランドが丸々入り、アフリカで言うと喜望峯がかかって、南アメリカで言うとチリ沖まで、その中に日本が入っていますので、日本はマグロが一番良く獲れる範囲です。その意味でも日本近海はマグロの大漁場です。

マグロは回遊魚でぐるぐる回っております。もう一つの大きな漁場は、北大西洋漁場と言ってニューヨーク沖が有名です。そして、もう一点地中海沖が有名です。これが北緯の三大漁場と言われております。南は、南氷洋をずっと、オーストラリア、ニュージーランドあたりが有名です。よくマグロが空を飛ぶと言いますが、これはクロマグロのことを言うのです。クロ

マグロの旬は寒い時です。マグロは年中獲れますが、クロマグロの一番おいしく値段が高くなってくるのは、日本では脂ののってくる11月から正月にかけて獲れるものです。夏場のマグロについてですが、昔は、夏場のマグロはおすし屋さん握らないと言って、脂ののっていないマグロは値うちがありませんでした。そこで技術的におすし屋さんが「づけ」をはじめ、づけマグロとして出されました。この様に夏場はマグロを食べないというのが江戸っこと言うか、築地の一つの流儀でしたが、今では、全世界から日本にマグロが入って来ますので、クロマグロに関しては旬がなくなりました。

この辺で言いますと、津波さえなければ、南三陸沖は今大漁場でした。三陸はあまりクロマグロは獲れません。揚がって来るのは、メバチマグロとピンチョウマグロで、ピンチョウマグロは、ここ4~5年かけてマグロ屋さんが宮城県のブランド商品にしようということで取り組んでおりました。三陸は今がほんとうの漁場で、塩釜、気仙沼はマグロで大にぎわいの時ですが、この津波で気仙沼も石巻も船を出していません。いくらか生き残ったのが塩釜で、1ヶ月位前一艘だけマグロ漁に行きました。そして帰って来たというニュースを聞きました。

漁法については、一番ポピュラーなのは、日本で明治時代から始まったようですが、マグロはえなわ漁というのがあります。約100kmの縄にエサ (イカ、サンマ、イワシ等) をつけて流すのです。そして、一本つり、定置網があります。定置網は湾内に網を張って魚が来るのを待っているのです。富山では、寒ぶり漁に定置網を使います。夏場はメジマグロを定置網で獲ります。メジマグロは本マグロの小さい物ですが夏場はとてもおいしい魚です。本マグロとメジマグロの境ですが、25~30kgに満たないものはメジマグロとして市場では扱っています。これが、三陸沖でも去年は面白いほど獲れました。メジマグロに関しては1本で買わなければなりません。大きいので処分に困ります。定置で獲れるため非常に生きが良いです。死後硬直と言って、1日目は硬くて石を食べている様で歯が全然たちません。2日目あたりで、ようやく軟らかくなり、3日目位から本来のマグロの味がします。この様にマグロは時間をかけても良い魚です。このため遠くまで獲りに行く事が出来るのです。1週間位で帰ってこられるようにという考え方で漁船を出している様です。

今、世界ではマグロ禁漁の話が出ておりますが、これは巻き網漁のことです。巻き網漁はいっきに魚を寄せてとるため魚と魚がぶつかり傷がついたり、内出血をしたりして値うちが下がるため、日本では好まれていません。1本づりも、魚があばれるため内出血等あまり良くないとも言われております。マグロは外遊魚ですので定置網にもあまりかかりませんので、やはり、はえなわが一番良い様です。

マグロは、7月頃、沖縄から台湾にかけての場所で産卵するそうです。そして、日本海側に入ると太平洋側に入ると二つに分かれ、だんだんに北に上がって時季時季で名前が付けられます。

— マグロの話はまだまだ続きますが、紙面の都合上割愛させていただきます。 —